



報道関係者各位

2022.12

嵯峨嵐山文華館

「絵で知る百人一首と伊勢物語」開催のお知らせ



日時 | 2023年1月28日(土)～2023年4月9日(日)
10:00～17:00 (最終入館16:30)
休館日 | 火曜日 (但、3/21は開館)
主催 | 嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援 | 京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

作品総数：45点 (うち初公開15点)
前期+通期：36点 (うち初公開11点)
後期+通期：36点 (うち初公開13点)
※通期の初公開9点を含む

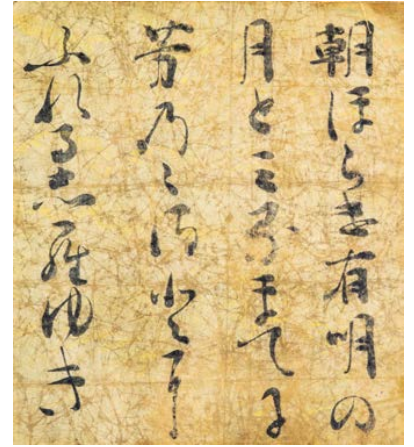
※作品点数は変わる可能性があります

百人一首発祥の地で、ゆかりの作品に触れる

鎌倉時代の歌人・藤原定家が編んだ秀歌撰である小倉百人一首は、定家の息子・為家の舅である宇都宮頼綱（蓮生）の求めに応じて約500年の間に編纂された勅撰和歌集から、100人の歌人が詠んだ歌を各1首ずつ選び、色紙に揮毫したものです。

本展では定家の直筆とされる《小倉色紙》をはじめ、菊池契月筆《六歌仙図屏風》など、百人一首に登場する歌人を描いた、近世から近代にかけての日本画を展示いたします。

古に思いを馳せつつご鑑賞ください。



伝 藤原定家《小倉色紙 朝ほらけ》

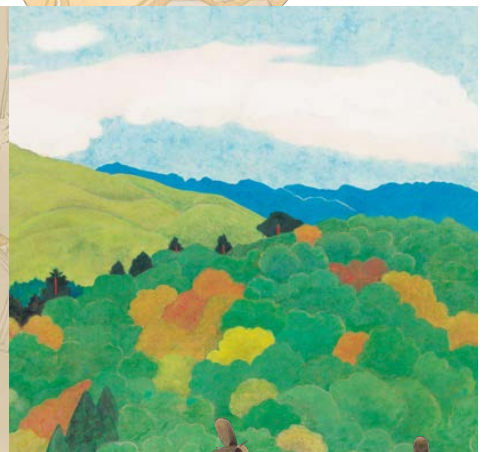
恋多き美男子の物語、伊勢物語を想起させる絵画



2階畳ギャラリーでは百人一首の歌人の中から、17番「ちはやふる～」を詠んだ在原業平に着目。業平を主人公とする『伊勢物語』の場面を想起させるような絵画を展示します。

百人一首と伊勢物語、2つの古典文学を絵とともに読み解いて親しんでいただけるきっかけとなれば幸いです。

依屋宗達 益田家本伊勢物語図色紙
第二段「西の京」



右から菊池契月《在五中将》、小林古径《芥川》、小野竹喬《大和風景》（部分）



菊池契月《六歌仙図屏風》（部分）

企画展概要

企画展名	「絵で知る百人一首と伊勢物語」
開催日程	2023年1月28日(土)～2023年4月9日(日) 10:00～17:00 (最終入館16:30) ●前期…1月28日(土)～3月6日(月) ●後期…3月8日(水)～4月9日(日)
休館	火曜日(但、3/21は開館)
主催	嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援	京都市、京都府教育委員会、京都商工会議所
場所	嵯峨嵐山文華館 〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 http://www.samac.jp/ <嵯峨嵐山文華館>
料金	一般・大学生 ¥900/高校生 ¥500/小中学生 ¥300 障がい者と介添人1名まで 各¥500 <嵯峨嵐山文華館と福田美術館の二館共通券> 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

担当学芸員：國永裕子
広報：中島真帆

本展に関するお問い合わせ

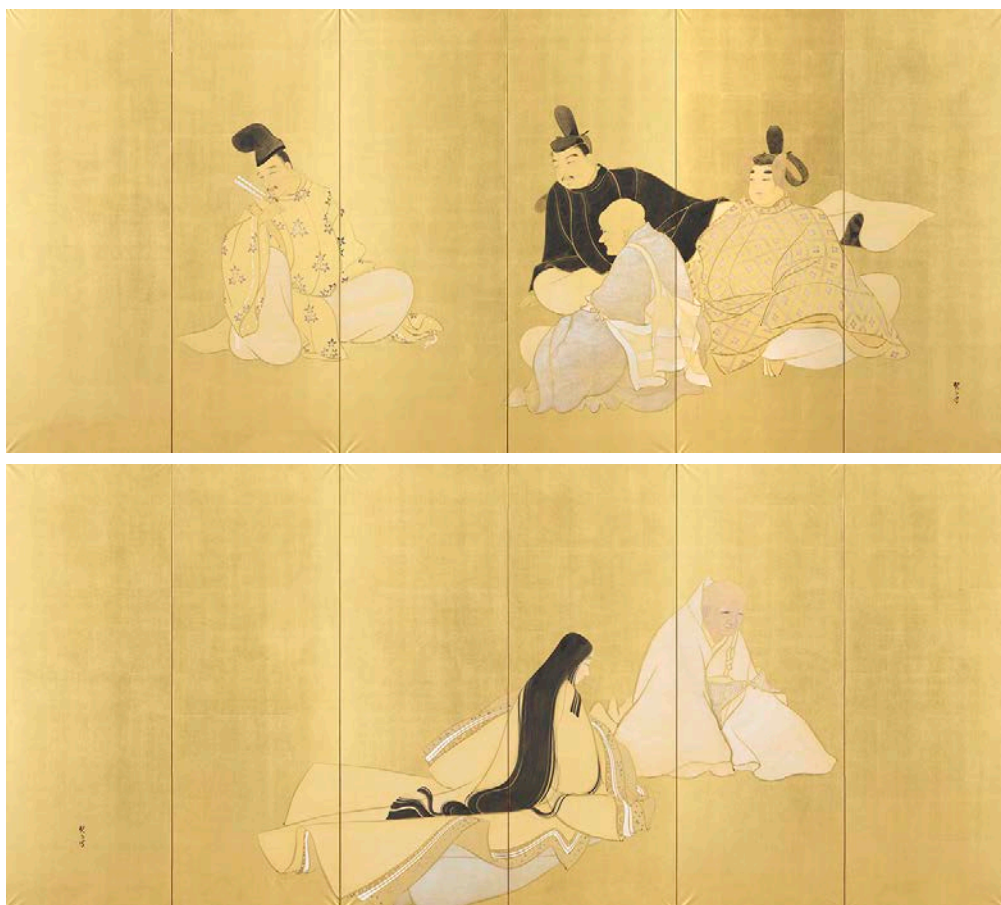
嵯峨嵐山文華館 広報事務局 (ウイングダム内)

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F
「嵯峨嵐山文華館」広報事務局

担当：沼澤、多田



01_菊池契月《六歌仙図屏風》（上：右隻/下：左隻）



02_池田孤邨《三十六歌仙図屏風》

絵で知る百人一首と伊勢物語 プレス用画像一覧_1



03_依屋宗達 益田家本伊勢物語図
色紙第二段《西の京》



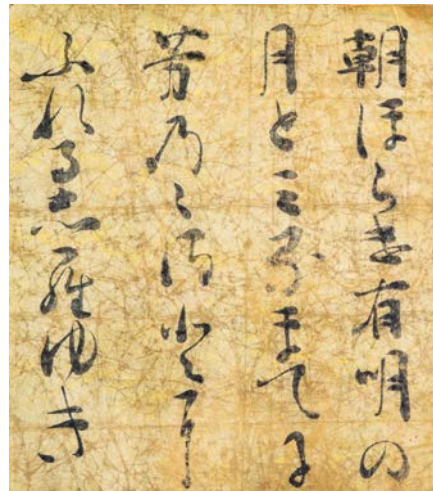
04_小野竹喬《大和風景》



06_菊池契月《在五中将》



05_小林古径《芥川》



07_伝 藤原定家
《小倉色紙 朝ほらけ》

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入ると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が撰ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また120畳の広々とした2階の畳ギャラリーでは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。

